

2024年度

ロシア語科

2年生 シラバス

目次

| 実務経験のある 教員 | 科目名 | 担当者名 | ページ |
|---------------|------------------|---------------|-----|
| ☆ | 実用ロシア語会話 | イリイン・ロマン | 1 |
| ☆ | 実用ロシア語文法 | スレイメノヴァ・アイーダ | 2-3 |
| ☆ | ロシア語リスニング | イリイナ・タチヤーナ | 4 |
| ☆ | ロシア語講読 | 鳥飼 やよい | 5 |
| ☆ | 通訳翻訳入門 | デルカーチ・フョードル | 6 |
| ☆ | 英語 | 鳥飼 やよい | 7 |
| | ロシア経済 | プラーソル・アレクサンドル | 8 |
| ☆ | ロシア史 | 倉田 有佳 | 9 |
| | ロシア文学史 | スレイメノヴァ・アイーダ | 10 |
| | ロシア文化史 | デルカーチ・フョードル | 11 |
| | 体育 | 小林 礼 | 12 |
| ☆ | ゼミナール外国語としてのロシア語 | イリイン・セルゲイ | 13 |
| ☆ | 法学入門 | 若山 優華 | 14 |
| | 論文作成 | 倉田 有佳 | 15 |

| | | | |
|--|---------------------------------|------|----------|
| 科目名 | 実用ロシア語会話 | 担当教員 | イリイン・ロマン |
| 学 科 | ロシア語科 | 学 年 | 第2学年 |
| 開講期 | 前期（16週）・後期（16週） | | |
| 時間数 | 前期64時間（週2コマ）・後期64時間（週2コマ）総128時間 | | |
| 授業概要・学習到達目標 | | | |
| 教科書内容に添った語彙習得により、テキストを理解できるようにする。また、テキストの内容に添った質問に答えることや会話を覚えることにより自己ロシア語会話力をつける。担当教師の質問に答え、また自らもロシア語でテキストを作成することができる。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| 試験、小テストの結果と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。 | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--------------------------------|---|
| 【前期】 | |
| 1 | ガイダンス |
| 2～10 | 第8課 《私の同僚が本を集めた方法》／彼らの生活についてもう少し》 《クセニヤさんと彼女の友達》 |
| 11～21 | 第9課 テキスト 《賢いオオム》／《新アルバートV》／《ふとん娘》。会話。 |
| 22～30 | 第10課 テキスト 《兄弟の涙》／《アルバート通り》／ 《新アルバート大通り》／《プーシキン》。指小形。会話。 |
| 31～32 | まとめ、テスト |
| 【後期】 | |
| 1～13 | 第11課 テキスト 《インタビューを受けるスポーツマンの妻》／ 《りんごの実がならない木》／《うそは続かない》。会話 |
| 14～30 | 第12課 テキスト 《カフェで》／《私の一週間》／《三人の教え子》／ 《北ロシア地方》。造格。会話。 |
| 31～32 | まとめ、テスト |
| 教科書・参考書・資料・参考文献 | |
| ロシア語の新しい習い方 第1部（ズラトウスト）。配布プリント | |

| | | | |
|---|----------------------------------|------|-------------|
| 科目名 | 実用ロシア語文法 | 担当教員 | スレイメノヴァ・アイダ |
| 学 科 | ロシア語科 | 学 年 | 2 学年 |
| 開講期 | 前期（16週）、後期（16週） | | |
| 時間数 | 前期64時間（週2コマ）・後期64時間（週2コマ） 総128時間 | | |
| 授業概要・学習到達目標 | | | |
| 文法の規則とロシア語のパターンを習得し、語彙を増やし、ロシア語学習の基礎を作る。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| 小テスト、宿題の結果と出席率、授業中の態度、提出物などの項目を評価に含んだ総合評価形とする。合格点は60点以上である。 | | | |

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】 | |
| 1 | ガイダンス、復習としての第9課、対格、前置詞格の名詞；代名詞； |
| 2～31 | 第10課、名詞の複数、無人称文；第11課、形容詞、「этот», «эта», «это», «эти»等の代名詞 |
| | 第12課、形容詞、副詞；比較 («более» - «менее»; «такой же, как...»); 比較級、最上級；«который (-ая, -ое, -ые)»関連語；«хотеть»「～したい」, «мочь»「できる」, «должен (жна, -жно)»「しなければならない」；第13課、«любить», «готовить», «экономить»の動詞、その命令形 |
| | 第14課、文章の構造；直接語法、間接語法；否定代名詞 |
| | 第15課 «5 Элементов» (A1) 前置格（場所、外・中の関係、前置詞、何について～、誰について～；代名詞の前置格；例外）；形容詞、副詞の最上級、比較級；テスト |
| | 第16課、移動の表現（動詞に目的語を付けてみること；場所、方向を表す名詞、代名詞、直接目的語）；«идти», «ходить»移動の動詞。小テスト； |
| | 第17課、目的を表す表現（「何をしに行く」）；小テスト |
| | 第18課、「教える・習う・学ぶ」。「できる」、「身につけた」、順序形容詞、「最後の～」と「最初の～」、年月日 |
| | 第19課、第3人称動詞の使い方；«-да-», «-ста-», «-зна-»語幹の動詞、過去形 «был, -а, -и»と«буду, -ет»未来系の使い方；頻度に関する表現、規則（前置詞格、対格）；スポーツ・ゲーム、楽器に関する文法と表現 |
| 第20課、「飲む」、「食べる」、「洗う」と対格の名詞、代名詞、小テスト、何のために飲む、「食べる」、その命令形；第15-20課の復習、テスト； | |
| 32 | まとめ、復習。 |
| 【後期】 | |
| 1 | ガイダンス、A1の復習；第21課、生格（数量の表現。名詞、形容詞、所有代名詞の生格形）；否定文の生格；否定代名詞。 |
| 2～25 | 第22課、「видеть», «смотреть»; слышать», «слушать»の動詞の相違；活動体の生格（対格）；関係代名詞。 |
| | 第23課、「писать», «резать», «искать»等の動詞と対格の名詞；«плакать»の動詞、その命令形 |
| | 第24課、動詞の体（不完了体と完了体の相違、前接頭辞と後接頭辞） |
| | 第25課、数詞と生格（2,3,4の単数生格；5,6...«много», «мало»の複数の生格）、入物の生格 «-ова-», «-ева-»の動詞；その命令形；無（非）人称文 |
| | 第26課、「идти», «пойти»移動の動詞。「для», «без», «кроме»前置詞と生格、目的語と義務を表す表現。入物と生格、単数名詞の生格と複数名詞の生格。時間の表現 |
| | 第27課、「(誰か)にしてほしい」という文の例；「欲しがっている」；«такой же, как...», «другой»比較の形容詞、「так же, как...»副詞；所有関係と«у кого»の生格；「どこから」、「どこへ」の生格と対格と前置詞格；小テスト |
| | 第28課、「искать», «найти», «находить»動詞、その命令形；«находить», «находиться»動詞の相違 |
| 第29課、代名詞の副詞 («оттуда», «отсюда»)；移動の動詞 («ехать», «ездить», «садиться на...», «сесть на...»); «идти», «ходить»)、小テスト | |

| | |
|---|---|
| | 第30課、「до», «после», «во время»前置詞と生格; «брать», «взять», «принимать», «принять» (「取る」、「手に入れる」)の動詞; テスト |
| 26～ 31 | 第31課、「брать», «взять», «покупать», «купить», «продавать», «продать» (「取る」、「買う」、「売る」)の動詞; 名詞、代名詞の与格 |
| | 第32課、動詞の体 (前接頭辞の場合; 前接頭辞のない場合); «можно», «нужно» (+ «было», «будет»)義務に関する文; 形容詞の短語尾形 |
| | 第33課、動詞の体 (様々な例); 直接話法と間接話法 |
| | 第34課、「к кому», «по»与格の例; «уйти», «прийти»の動詞; «(кому) нравится (понравиться)»という与格に関する無人称文 |
| | 第35課、他の与格・動詞の例、無人称文における与格の名詞と副詞 |
| 32 | まとめ、復習。 |
| 教科書・参考書・資料・参考文献 | |
| Т. Эсмантова «Русский язык. 5 Элементов» (A1: 抜粋版) | |
| Т. Эсмантова «Русский язык. 5 Элементов» (A2: 抜粋版) そのほか、随時プリント類適宜配布 | |

| | | | |
|---|--------------------------------|------|------------|
| 科目名 | ロシア語リスニング | 担当教員 | イリイナ・タチヤーナ |
| 学 科 | ロシア語科 | 学 年 | 第2学年 |
| 開講期 | 前期（16週）・後期（16週） | | |
| 時間数 | 前期32時間（週1コマ）・後期32時間（週1コマ）総64時間 | | |
| 授業概要・学習到達目標 | | | |
| 教科書の内容に添った語彙の習得により、テキストを聴力のみで理解できるようにする。また、テキストの内容に添った質問に答えることにより、自己のロシア語発話力をつける。 | | | |
| 学習上の留意点 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・授業には集中して臨むこと。新しい語彙・文法は確実に覚えてから演習に入ること。 ・新しい語彙・文法を使いつつ、質問事項には自分の意見を盛り込んで答えること。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| 期末試験、筆記テスト | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|--------------------|
| 【前期】 | |
| 1 | ガイダンス |
| 2～4 | ビデオ：一緒に遊びましょう |
| 5 | 復習、小テスト |
| 6～8 | ビデオ：紹介 |
| 9 | 復習、小テスト |
| 10～12 | ビデオ：公園で |
| 13 | 復習、小テスト |
| 14 | まとめ |
| 15～16 | 学年末試験への準備 |
| 【後期】 | |
| 1 | 前期の復習 |
| 2～3 | 教科書「ロシア語の新しい習い方」復習 |
| 4～6 | ビデオ：牧場で |
| 7～9 | 教科書「ロシア語の新しい習い方」復習 |
| 10～11 | ビデオ：僕の誕生日 |
| 12 | 復習、小テスト |
| 13～14 | 総まとめ |
| 15～16 | 学年末試験への準備 |
| 教科書・参考書・資料・参考文献 | |
| ロシア語の新しい習い方第1部（ズラトウスト）、ビデオ教材«Чудо-мальш» для начинающих Ильина Татьяна. Словарь к аудио-курсу «Чудо-мальш» для начинающих. Хакодате, | |

| | | | |
|--|-------------------|------|-------|
| 科目名 | ロシア語講読 | 担当教員 | 鳥飼やよい |
| 学 科 | ロシア語科 | 学 年 | 第2学年 |
| 開講期 | 前期（16週） | | |
| 時間数 | 前期32時間（週1コマ）総32時間 | | |
| 授業概要・学習到達目標 | | | |
| 一年次に履修の「ロシア講読」に引き続き、文法の知識に裏付けされたテキストの読み取りの能力を養う。語彙を増やし、新たな表現を学ぶことで、より難度の高いロシア語文を読み取る読解力を身に着けるための基礎作りをする。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| 各ストーリーの試訳と読了後の清書提出を課題とする。その他に単語テスト、3話ごとの小テストと学期末試験の総合評価とする。 | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------------|---|
| 【前期】 | |
| 1 | イントロダクション |
| 2～3 | 第10話 О чём думает марабу? 「マラブーは何を思うか」 |
| 4～5 | 第11話 Как я встречал Новый год 「新年の出来事」 |
| 6～7 | 第12話 Любимый праздник 「一番好きな祝日」 |
| 8 | テスト |
| 9～10 | 第13話 Солистка оперы 「オペラのソリスト」 |
| 11～13 | 第14話 Мимозы 「ミモザ」 |
| 14～16 | 第15話 Верное сердце 「誠実な心」、総復習 |
| 教科書・参考書・資料・参考文献 | |
| S・コーネワ「実用ロシア語講読」、付属CD | |

| | | | |
|--|---------------------------------|------|-------------|
| 科目名 | 通訳翻訳入門 | 担当教員 | デルカーチ・フョードル |
| 学 科 | ロシア語科 | 学 年 | 第2学年 |
| 開講期 | 前期（16週）・後期（16週） | | |
| 時間数 | 前期96時間（週3コマ）・後期64時間（週2コマ）総160時間 | | |
| 授業概要・学習到達目標 | | | |
| ロシア語のみならず文章を読んでいく中で、ロシア文化、ロシア史、ロシア政治体制なども理解できるようになる。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| 評価は2回の試験の成績の平均とする。各期の合格点は60点以上である。各期の評価は小テスト20%と試験80%の割合とする。 | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|--------------------------------|
| 【前期】 | |
| 1 | ガイダンス |
| 2～6 | 第1課 三頭の熊、まとめと小テスト |
| 7～11 | 第2課 日本における女性、まとめと小テスト |
| 12～15 | 第3課 狐と鶴、まとめと小テスト |
| 16～19 | 第4課 ロシアにおける教育制度、まとめと小テスト |
| 20～24 | 第5課 トルストイに会える場所、まとめと小テスト |
| 25～29 | 第6課 ロシアの白樺、まとめと小テスト |
| 30～34 | 第7課 ロシアの人形、まとめと小テスト |
| 35～38 | 第8課 ロシア美術の宝蔵、まとめと小テスト |
| 39～43 | 第9課 ロシアのショール、まとめと小テスト |
| 43～47 | 第10課 ロシアの焼成人形、まとめと小テスト |
| 48 | 期末テスト |
| 【後期】 | |
| 1～4 | 第11課 ジョストヴォの花模様、まとめと小テスト |
| 5～10 | 第12課 プーシキンの屋敷、まとめと小テスト |
| 11～17 | 第13課 チャイコフスキー、まとめと小テスト |
| 18～23 | 第14課 プーシキン美術館の忘れられた創立者達 |
| 24～28 | 第15課 ロシアで日本を探す |
| 29～32 | 第16課 ロシア料理とは、まとめと小テスト、年末試験への準備 |
| 教科書・参考書・資料・参考文献 | |
| С. Ильин 著、「Практика перевода」、ロシア極東国立総合大学、2020年 担当者作成の配布資料 | |

| | | | |
|---|----------------------------------|------|--------|
| 科目名 | 英語 | 担当教員 | 鳥飼 やよい |
| 学 科 | ロシア語科 | 学 年 | 第2学年 |
| 開講期 | 前期（16週）・後期（16週） | | |
| 時間数 | 前期64時間（週2コマ）・後期64時間（週2コマ） 総128時間 | | |
| 授業概要・学習到達目標 | | | |
| 英米のメディアから厳選した現代社会を反映する多様な問題を取り上げたリスニング資料を用い、聞き取りと読解を行う。テーマに関連した語彙や表現法を学び、フレーズ・リーディングによって英文をフレーズで読む力、複雑な構造の文意を大きく把握する力を養う。また、内容理解を深めるために関連資料の読解も行う。さらに、英文と和文の対訳を意識して音読することで最終的に総合的な英語力を獲得することを目指す。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| 出席 10%、課題提出 20%、中間テスト 40%、学期末試験 30% | | | |
| 最終評価：5（88-100%） 4（75-87%） 3（60-74%） 不合格（60%未満） | | | |

| 授業計画・内容 | | |
|------------------|--|------------------------------|
| | 【前期】 | 【後期】 |
| 1 | «Grit» イン트로ダクション、語彙、聞き取り | «Aphosis» イン트로ダクション、語彙 |
| 2 | フレーズ・リーディング、正誤問題 | 聞き取り |
| 3 | デュアル・リーディング | 聞き取り フレーズ・リーディング |
| 4 | «Venmo» イン트로ダクション、語彙、聞き取り | 聞き取り フレーズ・リーディング |
| 5 | フレーズ・リーディング、正誤問題 | 聞き取り 正誤問題 |
| 6 | デュアル・リーディング | 聞き取り 正誤問題 |
| 7 | 復習、中間テスト | デュアル・リーディング |
| 8 | «Why Printers Still Fail » イン트로ダクション、語彙、聞き取り | アーティクル・リーディング |
| 9 | フレーズ・リーディング、正誤問題 | «Into the Wild» イン트로ダクション、語彙 |
| 10 | デュアル・リーディング | 聞き取り フレーズ・リーディング |
| 11 | «Saying No to Cashless Business» イン트로ダクション、語彙、聞き取り | 聞き取り フレーズ・リーディング |
| 12 | フレーズ・リーディング、正誤問題 | 聞き取り 正誤問題 |
| 13 | デュアル・リーディング | 聞き取り 正誤問題 |
| 14 | Listening For Fun #1 | デュアル・リーディング |
| 15 | Reading For Fun #1 | アーティクル・リーディング |
| 16 | 総復習 学期末試験 | 試験対策 |
| 教科書・参考書・資料・参考文献 | | |
| 各テーマにつき小冊子を配布する。 | | |

| | | | |
|--|--------------|------|---------------|
| 科目名 | ロシア経済 | 担当教員 | プラーソル・アレクサンドル |
| 学 科 | ロシア語科 | 学 年 | 第2学年 |
| 開講期 | 後期（16週） | | |
| 時間数 | 後期32時間（週1コマ） | | |
| 授業概要・学習到達目標 | | | |
| この授業の目的は、驚異的な経済発展を続けるロシア経済に焦点をあつて経済発展メカニズムとその独特性を分析するとともにロシア経済が抱える問題点について分析しロシア経済の原動力の理解を高めることである。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| 期末に行う筆記試験の成績に出席を加味する。筆記試験は、自筆ノート、配布プリントの持ち込みを可とする。日頃の講義を真面目に受けていれば不合格を心配はない。 | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|----------------|
| 【後期】 | |
| 1 | 経済システムの基本 |
| 2 | 取引の理念 |
| 3 | ロシア経済システムの基本 |
| 4 | お金の流れとロシア社会 |
| 5 | 銀行の制度 |
| 6 | 需要と供給構造 |
| 7 | 市場形成の特徴 |
| 8 | 不完全競争市場の現状 |
| 9 | 政府と市場の関係 |
| 10 | ロシアの金融市場 |
| 11 | 外国為替と国際収支 |
| 12 | 経済活動の基本 |
| 13 | 国内総生産（GDP） |
| 14 | 失業の調整 |
| 15 | インフレーションのメカニズム |
| 16 | ロシアのマクロ経済 |
| 教科書・参考書・資料・参考文献 | |
| 授業は特定の教科書を使用せずに講義方式で進める。理解を助けるために反書を多く用いるが、更にパワーポイント等の視覚教材で説明を補う。また、各項目が終わるごとに重要事項と語彙をまとめたプリントを配布する。 | |

| | | | |
|---|---------------------------------|------|-------|
| 科目名 | ロシア史 | 担当教員 | 倉田 有佳 |
| 学 科 | ロシア語科 | 学 年 | 第2学年 |
| 開講期 | 前期（16週）・後期（16週） | | |
| 時間数 | 前期32時間（週1コマ） 後期32時間（週1コマ） 総64時間 | | |
| 授業概要・学習到達目標 | | | |
| 日本とロシア（ソ連）の双方の研究者の視点からロシア史の基本的な流れを理解することを目指す。後期に入ってから、個別のテーマを通して、ロシアを多角的に捉え、理解することを目指す。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| 出席（30%）授業態度（20%）課題・提出物（10%）試験（40%） | | | |

| 授業計画・内容 | |
|------------------|------------------------------------|
| 【前期】 | |
| 1 | ガイダンス、ロシア史の基礎知識の確認 |
| 2 | ロシア史の揺籃時代 |
| 3 | 映画「イーゴリ公」鑑賞 |
| 4 | リューリク（王）朝 |
| 5 | キエフ・ルーシ |
| 6～7 | タタールのくびき |
| 8～9 | モスクワ公国時代 |
| 10 | リューリク王朝 |
| 11 | リューリク王朝（映画「イワン雷帝」鑑賞） |
| 12 | スムータ（動乱）の時代 |
| 13 | スムータ（動乱）の終焉 |
| 14 | 異教 ドイツ騎士団 |
| 15 | ロシアの周辺国史 プロシア リトアニア ポーランド |
| 16 | ザチョット |
| 【後期】 | |
| 1 | ロマノフ王朝（ピョートル1世） |
| 2 | ロマノフ王朝（ピョートル1世の近代化政策） |
| 3 | ロマノフ王朝（女帝の時代：エカテリーナ一世・アンナ・エリザヴェータ） |
| 4 | ロマノフ王朝（エカテリーナ二世 露土戦争 クリミア併合） |
| 5 | ロマノフ王朝（映画「おろしあ国酔夢譚」鑑賞） |
| 6 | ロシア貴族ロマノフ王朝（エカテリーナ二世からパーヴェル一世へ） |
| 7 | ロマノフ王朝（アレクサンドル一世） |
| 8 | ロマノフ王朝（アレクサンドル一世 祖国戦争） |
| 9 | 初代駐日ロシア領事ゴシケーヴィチの若き日々 |
| 10 | ロマノフ王朝（デカブリストの乱 ニコライ一世時代の始まり） |
| 11 | ロマノフ王朝（ニコライ一世 クリミア戦争） |
| 12 | ロマノフ王朝（アレクサンドル二世 敗戦後の大改革 農奴解放令） |
| 13 | ロマノフ王朝（アレクサンドル二世 敗戦後の大改革 社会・経済） |
| 14 | ロマノフ王朝（アレクサンドル二世 敗戦後の外交・国際関係） |
| 15 | ロマノフ王朝（アレクサンドル二世 人民の中へ 皇帝暗殺） |
| 16 | 復習、まとめ |
| 教科書・参考書・資料・参考文献 | |
| 適宜参考図書や論文を使用・配布。 | |

| | | | |
|---|---------------------------------|------|-------------|
| 科目名 | ロシア文学史 | 担当教員 | スレイメノヴァ・アイダ |
| 学 科 | ロシア語科 | 学 年 | 第2学年 |
| 開講期 | 前期(16週)、後期(16週) | | |
| 時間数 | 前期32時間(週1コマ)、後期32時間(週1コマ) 総64時間 | | |
| 授業概要・学習到達目標 | | | |
| ロシア文学の社会諸問題への関心、国民性、知識人の使命、作家の受難、ロシア人の文学への信頼などに注意の重点を置く。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| 試験、小テスト、宿題(Google Forms)の結果と出席率、授業中の態度、提出物などの項目を評価に含んだ総合評価形とする。合格点は60点以上である。各期の評価はテスト20%と試験80%の割合とする。 | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|--|
| 【前期】 | |
| 1～4 | ガイダンス、ロシア文学のはじまり:文学の種類とジャンル。ロシア文学の特徴など |
| 5～7 | 年代記、キエフ・ロシア崩壊; 14～17世紀の文学の流れ、『三海渡航記』(アフナーシー・ニキチン) |
| 8～10 | 18世紀の文学; ロシア詩法の確立、ロモノソフ; ロシアの劇場の成立; 古典主義の衰退と文体の改革 |
| 11～12 | ロマン主義潮流、文学的団体、カラムジン(『哀れなリーザ』) ラジューシェフ(『ペテルブルグからモスクワへの旅行』)、ジュコーヴスキー、クリローフ(寓話)、グリボエドフ(『知恵からの悩み』) |
| 13～16 | 国民詩人プーシキンとその著作。「ロシアの生活の百科事典」としての『エプゲーニイ・オネーギン』、主な主人公、文体の特徴。写実主義の確立、典型的な形象、典型的な形象。復習。 |
| 【後期】 | |
| 1～3 | プーシキンの晩年時代: 『ベールキンの物語』 『スペードの女王』 『大尉の娘』 『小悲劇』。 |
| 4～6 | レールモントフ、その詩; レールモントフの創造活動、『現代の英雄』という長編小説 |
| 7～10 | ゴーゴリ、その作品。ウクライナ時代の作品(『デイカーニカ近郷夜話』、『隊長プーリバ』); ペテルブルグ物語(『鼻』、『外套』)、『死せる魂』(長編小説の構造、主人公; 風景) |
| 11～13 | ゴンチャロフの創造活動: 「平凡物語」、「オブローモフ」、「断崖」、紀行文「パラダ軍艦」 |
| 14～15 | ツルゲーネフの創造活動: 『獵人日記』、『貴族の巢』、『その前夜』、『父と子』。長編小説の構造、主人公、「ツルゲーネフの乙女」というタイプ。 |
| 16 | 復習。 |
| 教科書・参考書・資料・参考文献 | |
| 各著者の原作からの抜粋(PDFファイルの電子資料、プレゼンテーション)を随時プリントで配布。 | |

| | | | |
|---|-------------------|------|-------------|
| 科目名 | ロシア文化史 | 担当教員 | デルカーチ・フョードル |
| 学 科 | ロシア語科 | 学 年 | 第2学年 |
| 開講期 | 前期（16週） | | |
| 時間数 | 前期32時間（週1コマ）総32時間 | | |
| 授業概要・学習到達目標 | | | |
| ロシア文化（特にロシアの伝統、宗教、思想と芸術）に関する総理解をも学生に与える 他、文化学の基本思想および用語の知識を与える。現代ロシアの国民性、言語、経済状況 などの文化的な背景を理解できる。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| 中間テスト、期末試験、学年末試験 | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-------------------------------|---------------|
| 1～2 | ガイダンス |
| 3 | 【時間と空間における文化】 |
| 4～5 | 【文化の発生と進展原理】 |
| 6 | 【芸術】 |
| 7 | 【文化史の科目】 |
| 8 | 【ロシア文化史の概要】 |
| 9～11 | 【スラブ文化】 |
| 12 | 【スラブとロシアの神話】 |
| 13～14 | 【スラブと霊界】 |
| 15～16 | 【キリスト教】 |
| 教科書・参考書・資料・参考文献 | |
| 教科書：F・デルカーチ「中世ロシア文化史」、函館、2009 | |
| 参考資料：Русская песня 2023 | |

| | | | |
|--|---------------------------------|------|------|
| 科目名 | 体育 | 担当教員 | 小林 礼 |
| 学 科 | ロシア語科 | 学 年 | 第2学年 |
| 開講期 | 前期（16週）、後期（16週） | | |
| 時間数 | 前期32時間（週1コマ）、後期32時間（週1コマ） 総64時間 | | |
| 授業概要・学習到達目標 | | | |
| 運動することの楽しさや喜びを味わうとともに、生涯にわたる豊かなスポーツライフ「する。見る。支える。知る」を実現する能力を育成するとともに、スポーツに関する課題を発見し、その解決を図る主体性・協働的な学びを通して、公正・責任・安全・判断・人間性等を育成する。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| 出席（50%）授業態度（40%）試験（10%） | | | |

| 授業計画・内容 | | | |
|-----------------|-------------------------|------|-------------------------------|
| 【前期】 | | 【後期】 | |
| 1 | オリエンテーション | 1 | 体づくり運動④ 体力を高める運動 ウォーキング |
| 2 | 体づくり運動① 体ほぐし運動 | 2 | 器械運動 ①跳び箱 |
| 3 | 体づくり運動② 体力を高める運動 縄跳び | 3 | 球技 ①ネット型 バレーボール |
| 4 | 体づくり運動③ 体力を高める運動 登山 | 4 | ダンス ①リズムダンス |
| 5 | 器械体操 マット運動 | 5 | ダンス ②リズムダンス |
| 6-9 | 球技 ①～③ネット型 バレーボール | 6-7 | ダンス ③リズムダンス |
| 10-12 | 球技 ①～③ゴール型 バスケット ボール | 8-10 | 体づくり運動⑤ 体力を高める運動 長縄跳び・短縄跳び |
| 13-15 | 球技 ネット型 バトミントン | 11 | 体づくり運動⑥ 体力を高める運動 長縄跳び・短縄跳び |
| 16 | 実技試験 | 12 | 体づくり運動⑦ スケート |
| | | 13 | 体づくり運動⑧ スケート |
| | | 14 | 体づくり運動⑨ スケート |
| | | 15 | まとめ |
| | | 16 | 実技試験 |
| 教科書・参考書・資料・参考文献 | | | |
| 使用しない | | | |

| | | | |
|--|-------------------|------|-----------|
| 科目名 | ゼミナール外国語としてのロシア語 | 担当教員 | イリイン・セルゲイ |
| 学 科 | ロシア語科 | 学 年 | 第2学年 |
| 開講期 | 前期（16週） | | |
| 時間数 | 前期32時間（週1コマ）総32時間 | | |
| 授業概要・学習到達目標 | | | |
| 初級文法の規則とロシア語のパターンを習得し、語彙を増やし、ロシア語学習の基礎を作る。格変化、動詞の変化の理解を深める。基礎の習得のために復習をする。補助教材を用い文法強化を図る。一般的な文法概念と露語特有の文法用語を学ぶ。露和・和露辞書を利用する。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| テストと期末試験の他に提出課題の結果と出席状況から判定する。 | | | |

授業計画・内容

【前期】

| | |
|---|--|
| 1～16 | <p>УРОК 1 Члены предложения 文の成分 Главные члены предложения 文の主成分</p> <p>УРОК 2 Нераспространенное и распространенное предложение 不拡大文と拡大文</p> <p>УРОК 3 Второстепенные члены предложения 文の二次的成分</p> <p>УРОК 4 Выражение главных членов предложения 主成分の表現 Выражение подлежащего 主語の表現</p> <p>УРОК 5 Выражение второстепенных членов предложения 二次的成分の表現 Дополнение 補語 Прямое и косвенное дополнение 直接補語と間接補語</p> <p>УРОК 6 Определение 定語 一致定語 Притяжательное местоимение 物主代名詞 Сравнительная степень прилагательного 形容詞比較級 Наречие 副詞</p> <p>УРОК 7 Приложение 付語 УРОК 8 Обстоятельство 状況語 Обстоятельство места 場所の状況語 Обстоятельства с предлогами 場所の状況語に使われる前置詞の用法</p> <p>УРОК 9 Обстоятельства времени 時間の状況語 Наречия времени 時間の副詞 Местоимения 代名詞 Существительные с предлогами 前置詞をともなう名詞 Дееспричастия и дееспричастные обороты 副動詞と副動詞的表現 Предлоги обстоятельств времени 時の状況語に用いられる前置 詞の用法</p> <p>УРОК 10 Обстоятельства образа действия 様態の状況語 Обстоятельства цели 目的の状況語 Обстоятельства причины 原因の状況語</p> |
| 教科書・参考書・資料・参考文献 | |
| С. И. Ильин Основы русского синтаксиса. (ロシア語構文の基礎) Учебное пособие для японских студентов по курсу «Особенности грамматики русского языка» 2 курс (2016年) | |

| | | | |
|---|------------------|------|-------|
| 科目名 | 法学入門 | 担当教員 | 若山 優華 |
| 学 科 | ロシア語科 ※選択科目 | 学 年 | 第2学年 |
| 開講期 | 前期（8週） | | |
| 時間数 | 前期16時間（全8回）総16時間 | | |
| 授業概要・学習到達目標 | | | |
| 論理的思考が向上し、様々な利益の考慮ができるようになる。 日常的に生じる法律問題について基礎的知識を身に着ける。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| 出席（50%）授業態度（20%）試験（30%） | | | |

| 授業計画・内容 | |
|-----------------|-----------|
| 1 | オリエンテーション |
| 2 | 憲法（1） |
| 3 | 憲法（2） |
| 4 | 民法（1） |
| 5 | 民法（2） |
| 6 | 刑事模擬裁判（1） |
| 7 | 刑事模擬裁判（2） |
| 8 | 筆記試験 |
| 教科書・参考書・資料・参考文献 | |
| なし | |
| 各回、プリントを適宜配布する。 | |

| | | | |
|---|--------------------|------|-------|
| 科目名 | 論文作成 | 担当教員 | 倉田 有佳 |
| 学 科 | ロシア語科 | 学 年 | 第2学年 |
| 開講期 | 後期（10週） | | |
| 時間数 | 後期20時間（全10回） 総20時間 | | |
| 授業概要・学習到達目標 | | | |
| ①レポートや論文作成のために必要な資料の検索や収集方法、②序文・結語の書き方、註のつけ方、③課題解決能力やプレゼンテーション能力といった、3年次以降の論文作成に必要な事項を2年次で完璧に身につけておくことを目標とする。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| 出席（30%） レポート（70%） | | | |

| 授業計画・内容 | |
|--|---|
| 1 | ガイダンス。各種検索（国立国会図書館・北海道大学附属図書館・CiNii（NII 学術情報ナビゲータ[サイニィ]）等、研究の調査資料の収集方法を学ぶ |
| 2 | 各種検索方法を使い資料の収集、文献目録作成の練習しながら学年レポートのテーマの検討 |
| 3 | 参考文献の収集、テーマの検討 |
| 4 | 学年レポートのテーマ決定 |
| 5 | 学年レポート作成 |
| 6 | 学年レポート作成（引用文献・参考文献作成） |
| 7 | 学年レポート作成 |
| 8 | 学年レポート作成 |
| 9 | 学年レポートの体裁を整える（表紙・ページ打ち・脚注） |
| 10 | ザチャット週間が始まる前の週の最終日にレポートをデータで提出 |
| 教科書・参考書・資料・参考文献 | |
| ガイドブックおよび引用註の様式を配布する。論文執筆に必要な参考図書や論文などは、論文指導の中で適宜紹介する。 | |